

科学技術イノベーション総合戦略（仮称）の構成（案）
～世界で最もイノベーションに適した国を目指して～

第一章 科学技術イノベーションを取り巻く現状の認識と本総合戦略の目的

- 現状の認識
- 科学技術イノベーションが果たすべき役割
- 本総合戦略の目的

第二章 科学技術イノベーションで拓く社会像と実現に向けての道筋

「目指すべき社会像」を示し、科学技術イノベーションによって社会的課題を解決する、成果目標を含む道筋を提示

- 目指すべき社会像（あるべき姿）
- 政策課題：「目指すべき社会像」実現のために解決する必要がある（複数の）課題
- 重点的取組：政策課題を実現するために最優先で進めるべき、政策課題を更に具体化した（複数の）取組

（注）2030年までの課題解決志向の「長期ビジョン」とPDCAサイクルを回せる「短期の行動プログラム」を設定

第三章 科学技術イノベーションの環境創出

- イノベーション・システムを駆動する
- イノベーションの芽を育む

第四章 科学技術イノベーションの司令塔機能強化

前記第二章及び第三章を強力に実現するため、早急に取り組むべき措置

- 政府全体の科学技術予算戦略を主導する仕組みの改革
- 事務局体制の強化
- 総合科学技術会議の活性化

* 本構成案は、総合科学技術会議提出の有識者議員ペーパーの柱建てをそのまま転載した部分（第三章）等もあり、今後の科学技術イノベーション総合戦略（仮称）の検討状況に応じて最適な形に見直す前提である。

【参考】

<2013年1月25日日本経済再生本部 安倍総理指示（抄）>

内閣府特命担当大臣（科学技術政策）は関係大臣と協力して、課題解決志向を重視した研究開発を推進する科学技術・イノベーション立国を実現するため、総合科学技術会議の司令塔機能の抜本的強化を図ること。これにより、世界で最もイノベーションに適した環境を整え、世界から最高水準の人材が集積するような社会を実現すること。

<2013年2月28日 安倍総理施政方針演説（抄）>

日本から世界へという流れだけでなく、世界から日本に、優れた企業や人を集め、日本をもう一度成長センターにしていく気概も必要です。

優れた人たちは、今、日本で能力を発揮したいと考えるでしょうか。

日本での研究環境に満足できない研究者たちが、海外にどんどん流出しています。

「世界で最もイノベーションに適した国」を創り上げます。総合科学技術会議が、その司令塔です。大胆な規制改革を含め、世界中の研究者が日本に集まるような環境を整備します。

<2013年3月1日総合科学技術会議 安倍総理発言（抄）>

今後、なぜ日本のイノベーションは停滞してしまったのか、また或いは「イノベーション25」で何が出来て、何が足りなかったのかを徹底して検証し、その上で、「世界で最もイノベーションに適した国」を創り上げていきたい。その司令塔こそが総合科学技術会議であり、新たに生まれ変わった新生総合科学技術会議とすべく私も全力で頑張っていきたい。皆様とともに汗を流していきたい。